

なかしべつ 議会だより

No.143
令和6年10月



9月29日(日) 中標津町総合防災訓練が実施されました

主な内容 第21期目の議会がスタート (P2~6)

9月定例会 (P7)

一般質問 9名 (P8~12)

新議員研修会 (P15)

議会ホームページ



第2回臨時会

中標津町議会議員の任期満了に伴う一般選挙後の初議会が9月3日に開催され、正副議長選挙に先立ち、今回初めて所信表明会を開催しました。正副議長を志す2名により所信の表明を受け、その後、議長および副議長選挙をはじめ、議会における委員会等の構成を決めました。

また、監査委員の選任に原案のとおり同意しました。

第21期目の議会がスタートするにあたり、 新しい議長、副議長の挨拶と各議員および 委員会構成を紹介します。



ごとう かず お 議長
(6期目)

「チーム議会」として

さらに活動する議会を目指して

議員定数を削減し、4名の新人議員とともに15名で新たな議会運営がスタートしました。議員定数削減による厳しい選挙戦を勝ち抜いてこられ、見事議員になられた議員各位にお祝い申し上げますとともに、この度の選挙に携わっていただきました町民の皆さまに感謝と敬意を表させていただきます。

前回の議会改革特別委員会からの申し送りに再度調査研究を重ね、町民の皆さまのご理解・ご協力をいただきながら、議員間でしっかりと議論し、決定してまいりたいと思っています。

厳しい町財政の中、多くの事業などに創意工夫をし、町民福祉向上のため、また、町発展のためにしっかりと先を見据えた議論を重ね、「チーム議会」として努力をしてまいります。

今、日本中のどの自治体でも、少子高齢化・人手不足が心配され、北海道全体の中でも比較的若い町の本町でも、そのことが現実のものとなってきた。

この問題は一町や一議会が解決できることではありませんが、町民の皆さまとともに考え、実行していかなければならないと思っています。

そのためには、先ほぐ述べたように「チーム議会」として活動してまいります。

本年度は開催が難しくなりました議会報告会ですが、町民の皆さまとじっくり向き合い、話し合いができる体制をつくり実施してまいります。

議会は町民の皆さまのものです。決して私たち議員のものではありません。

町民の皆さまとともに、住みやすく安心して暮らせる町づくりを目指してまいりますので、さらなるご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。



まつむら やすひろ 副議長
松村 康弘 (9期目)

頼られる議会を 目指します

副議長に当選させていただきました松村康弘です。

町民の皆様から寄せられる切実な要望に、二つとなつた常任委員会による集中的な議論を経た代表質問をつくりあげて、その実現を行政に迫るための議会の権能強化に力を尽くします。

4年後の選挙時に、中標津町議会は、いざというとき頼りになるんだと思っただけでいいように、結果として投票率が上がるような運営を目指し議長とともに全力を尽くします。



たけだ かいと 議員
武田 開人 (1期目)

若さと行動力で町の 未来を創る決意

今回、当選議員の中で最年少の若さと地元をより良くしたいという情熱を持つて、地域の未来を創るために全力を尽くします。

子育て・観光・農業の環境を改善できる施策を重視し、住みやすい町づくりを目指します。

皆様の声を大切に、ともに明るい未来を築いていきましょう。

地域経済の活性化や持続可能な発展にも力を入れ、子どもたちに誇れる、帰って来なくなる町」を創ります。

皆様の期待と信頼に応えられるよう、全力で取り組んでまいります。



あべ さき 議員
(1 期目)

町民の目線で全ての命が輝く町へ

昭和から令和にかけて、町の生活や文化は大きく変化し、少子高齢化や人口減少が進む中、未来を生きる子どもたちが幸せであることは重要です。

歴史を継承し、障がいを持つ方々や社会的弱者が平等に暮らせる町づくりを進め、町民に寄り添い、未来の世代が安心して暮らせる町を目指して活動します。



くりやま ようすけ 議員
(1 期目)

住み続けたい町への行動を

全ての町民がさらに住み続けたい町にいくために、皆さんのお声を聴き行動をしていきます。

皆さんのお声・お知恵を拝借し、一つ一つより良くしていき、次の世代に繋いでいきます。

当町の宝である子どもたちが中標津に生まれて良かったと、そう思ってもらえるよう尽力します。そのためには色々な垣根を越えて、町民一人一人のご協力も必要になると思います。町民の代表である14名の議員とともに良い町づくりを目指していきましよう。



ながぶち ゆたか 議員
(1 期目)

農業の底力を強みに誇れる町創り

皆様からの絶大なる期待に応えるべく、町議会議員として町民の意見に耳を傾け、皆が自慢し誇れる町にするために活動します。

私が今まで経験し学んできたことを活かして、もつと学び、基幹産業である酪農のみならず農業全般にわたってしっかりと支え、さらに他産業との連携を強化し、中標津町スタイルの循環産業の構築に力を注いでまいります。

また、大災害への対策・待ったなしの少子化・労働力不足・環境問題など、町民と認識を共有し、町政に活かしていきます。



ひらやま ひろみ 議員
(2 期目)

交流人口・関係人口の活性化を提案

今回初めての選挙戦を経験し、改めて町民の皆様を支えていただいている実感と負託に応えていく強い責任感を高めることができました。

道東の拠点となる環境を生かした観光の発展、防災・復興を含めた物流の推進、若者を含めたコミュニティの再構築を柱とした交流人口・関係人口の活性化を提案していきます。

また、皆様の声を町政に届けていくためにも、さらなる委員会の活性化に向けて調査研究し、活発な議員間協議ができるよう努力していきます。



あべ たかひろ 議員
(2 期目)

町民のみなさんと協働のまちづくり！

今回は、選挙戦を経て当選することができました。

1 期目同様に引き続き、町民のみなさんと議会・行政が「協働」を合言葉にともに取り組み、本町の課題解決のため全力でまい進してまいります。

「コロナを乗り越えたあと、人口減少による様々な問題と財政難が見込まれる将来に向け、町民のみなさんと議会・行政がともに手をとり、幸せを実感できる中標津町を目指し取り組んでいきます。



やまぐち たけひこ 議員
(2 期目)

「どっこい元気だ！なかしべつ」

25 年ほど前、「どっこい元気だ！辺境の田園都市中標津」という本が出版され、ずいぶん話題になりました。

都会でしか暮らしたことのない著者が家族との北海道旅行の際、たまたま通りかかった中標津の町の様子に、どこか他の町とはちがう活気や明るさを感じとり、その原因や理由をデータで紹介した本でした。

あの頃の元気な中標津に戻ることはないのかもしれませんが、少しでも近づけないものかと、日々思っています。



さくま ふみこ 議員
(2期目)

誰もが暮らしやすいまちに

1期目は無投票で議員になり、右も左も分らない状況の中でありましたが、これまでの4年間、さまざまな住民相談をもとに町の課題に取り組んでまいりました。

今期、初めて町議会選挙を経験し、議員の自覚と決意を新たに、これからの4年間「ひとりに寄り添い、小さな声をかたちに」をモットーに、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指し、町民の皆さまと一緒に考え、課題に向けて取り組んでまいります。



まつの みさこ 議員
(2期目)

まちづくりは人づくり健康な町へ

1期目の4年間は、町のあらゆる分野のことを、議員として体験し考えさせていただきました。

議会改革のなかで、戸惑いもありましたが、この改革が行政や町民へと繋がり、さらに暮らしやすい町・住み続けたい町になるよう取り組んでまいります。

健康であることが一番ですが、4年前と変わらぬ思いで、予防医療の啓発に取り組んでまいります。



むねかた かずき 議員
宗形 一輝
(3期目)

福祉の向上と経済の活性化を！

司法書士という法律家から見た成年後見制度や子育て等の福祉の向上を目指します。

選ばれたまち中標津を目指すため「なかしべつ」の情報発信し、商業の強化、事業が活性化するような仕組みづくりを提案していきます。

この町で柔道を学び、少年団活動で培ってきた経験を活かし、子どもたちの活躍をサポートするため、スポーツ振興を図ります。

人口減少の課題として、安心して子育てができるようにサポート体制の充実を推進してまいります。



えくち ともこ 議員
江口 智子
(3期目)

希望の持てるまちを目指して

人口減少・少子高齢化等、後ろに「問題」とつけると気持ちが重く沈みますが、これはこの町も抱える課題です。

武田信玄の名言「一生懸命だと知恵が出る」を座右の銘として、今いる場所で町民が希望を持てるよう、現場の声を聞き、知恵を湧かせたいと思います。

名言には続きがあり、「中途半端だと愚痴が、いい加減だと言いつけが出る」そうですので、愚痴や言い訳が出ないよう、調査研究にまい進します。



たかはし よしただ 議員
高橋 善貞
(3期目)

議場に町民の声が届く議会を目指す

「育つて暮らして良かった！」そんな中標津を目指し、懸案だった議会改革をさらに進めて行政と議会で今何が起きているか、すべての町民に伝えていくことが重要と考えます。

確実に進んでいる人口減少問題・少子高齢化問題を世代間の相互理解で乗り越えていくよう、少数精鋭の議会議員15人個々の広聴活動（町民の声を聴く）を強化すべきです。

新しい考えを持った若い人材が、積極的に行政への提案や、まちづくりに参加できる環境と機会を提供したいと思います。



さの やなみ 議員
佐野 弥奈美
(5期目)

町民と共に住み良い街づくり

議員のなり手不足といわれている昨今、中標津町議会15議席に19人もの立候補があったことは、議会改革が確実に進んでいることの表れだと思います。

町民の皆さんが安心して過ごせるように「自助・共助・公助」を考える防災対策、老々介護・障がい者介護の充実、移住者や戻ってきた人たちが、住み続けることができる生活環境の充実に向けて努めてまいります。

各委員会の構成と委員長の抱負

◎委員長 ○副委員長 ※議長はオブザーバー（両常任委員会も同様です）

議会運営委員会



ひらやまひろみ 平山光生
むねかたかずき ◎宗形一輝
まつむらやすひろ 松村康弘
えぐちともこ ◎江口智子
やまぐちたけひこ 山口雄彦
ごとうかずお ※後藤一男

委員長
江口 智子

15人体制での議会改革元年がスタートしました。

議会モニターから新たに1名の議員が誕生した今期は、平均年齢58歳、女性議員比率が40%と、町村議会としては若く、女性の活躍が期待されます。

議長より議会改革の諮問を受け、これまでに以上に町民に開かれた議会を目指し、「チーム議会」として前進します。

総務経済常任委員会



たけだ かいと 武田開人
えぐちともこ 江口智子
まつの みやこ 松野美哉子
あべ たかひろ ○阿部隆弘
ながぶち ゆたか 長 豊
ひらやまひろみ ◎平山光生
さの やなみ 佐野弥奈美

委員長
平山 光生

新規に7人体制となった当委員会は、主に総務部・経済部・建設水道部が所管で「地域振興に関する委員会」となります。

所管が増え調査すべき事項も多いですが、委員会引継書を基に大きく5つのテーマ「ふるさと応援制度推進事業」「防災」「人口減少対策」「観光振興」「獣害対策」に絞りました。

新議員2名の新しい風を取り入れながら、政策提案に向け調査研究を深めていきます。

文教厚生常任委員会



むねかたかずき 宗形一輝
たかはしよしき 高橋善貞
あべ さき 阿部沙希
さく ま 佐久間ふみ子
くり ようすけ 栗栖陽介
やまぐちたけひこ ◎山口雄彦
まつむらやすひろ 松村康弘

委員長
山口 雄彦

改選で新たな委員会名でのスタートとなり、また、新人議員2名が加わった7名での新委員会です。

所管は教育委員会・町民生活部・町立中標津病院の3部局となり、小学校校舎の老朽化や子ども子育て政策、生ごみ問題、そして町立中標津病院の管理運営など、取り組むべきものは多岐にわたっています。

委員全員がひとつとなって、これらの問題に取り組んでまいります。

議会広報特別委員会



委員長

阿部

隆弘

くりす 栗栖陽介
さくま 佐久間ふみ子
ながぶち 長瀬 豊
あべ 阿部隆弘
まつむら 松村康弘

新体制で始まったメンバーで任期2年間、議会だより・ホームページを通して、議会を理解していただけるよう町民のみなさんにお知らせしてまいります。

また、議会モニターより提案のありましたホームページへの「キッズページ」新設の早期実現に向けても取り組んでいきます。

根室北部衛生組合	根室北部消防事務組合	中標津町外2町葬斎組合
くりす 栗栖 まつむら 松村	ひらやま 平山 まつむら 松村	まつの みやこ 松野美哉子 まつむら 松村
ようすけ 陽介 やすひろ 康弘	ひろみ 光生 やすひろ 康弘	えぐち 江口 こう 後藤
むねかた 宗形 こう 後藤	あべ 阿部 こう 後藤	ともこ 智子 かずお 一男
かずき 一輝 かずお 一男	たかひろ 隆弘 かずお 一男	

根室北部廃棄物処理 広域連合	中標津地域森林・林業・ 林産業活性化議員連盟	議 員 会
やまぐち 山口 さくま 佐久間ふみ子 まつむら 松村 こう 後藤	会 長 たかはし 高橋 善貞 副 会 長 まつの みやこ 松野美哉子 事務局 長 あべ 阿部 隆弘 幹 事 あべ 阿部 沙希 幹 事 くりす 栗栖 陽介 監 事 むねかた 宗形 一輝	会 長 さの やなみ 佐野弥奈美 副 会 長 やまぐち 山口 雄彦 幹 事 たけだ 武田 開人 幹 事 まつの みやこ 松野美哉子 監 事 えぐち 江口 智子

議会報告会のお知らせ

昨年、新たな取り組みとして「Nakashibetsu議会ミルクCafé」と称し、ワールドカフェ方式で開催しました。

改選後、新たな体制の中で開催に向け協議を進めましたが、議員14名による決算審査特別委員会の開催、12月定例会、年明けには常任委員会視察研修などを予定し、日程調整が大変難しい状況となりました。

大変、心苦しい判断になりますが、本年の議会報告会開催を見送ることといたしましたので、お知らせします。

次回開催時期は未定ですが、多くの皆様から「参加したい！」と思っていただけるような議会活動を展開しながら、より有意義な会を検討していきます。

9月定例会 全議案可決

補正予算など

令和6年9月定例会を9月30日から10月4日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

本定例会は、町長・町議会議員改選後初の定例会で、西村町長の3期目の所信表明のあと、一般質問に新議員3名を含む9名の議員が登壇しました。

■令和6年度各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第4号）

6819万円を追加し、総額163億3963万3千円となりました。

（単位：千円）

	総務費	民生費	農林業費	商工費	教育費	災害復旧費	計
補正額	42,100	4,102	290	300	7,898	13,500	68,190

【主な補正内容】

- ・定額減税調整給付金給付事業
〈対象者：住宅取得控除対象者等 100人〉
- ・道路災害復旧事業 13カ所

【事業費：4200万円】

【事業費：1350万円】

◇一般会計補正予算（第5号）

1672万8千円を追加し、総額163億5636万1千円となりました。

- ・衆議院議員選挙費

【事業費：1672万8千円】

◇介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

補正内容：諸支出金

8797万3千円

◇町営牧場特別会計補正予算（第1号）

補正内容：災害復旧費

350万円

◇下水道事業会計補正予算（第1号）

補正内容：施設火災復旧工事

1768万8千円

■条例の一部改正

- ◇中標津町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定
- ◇中標津町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定
- ◇中標津町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定
- ◇中標津町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

■承認

◇専決処分の承認（一般会計補正予算（第3号））

- ・道路災害復旧工事費 11カ所 2790万円

■報告

- ◇令和5年度健全化判断比率
- ◇令和5年度資金不足比率

■その他

- ◇令和5年度中標津町町立中標津病院事業会計剰余金の処分
- ◇北海道後期高齢者医療広域連合規約の改正
- ◇町道路線の認定

決算審査特別委員会を設置しました

本年は改選後の議員定数減により、議長を除く14名で設置され審査を行います。

審査する人数は減りましたが、一人ひとりの活動でカバーし、より充実した審査体制で臨みます。

なお、委員長には さのやなみ 佐野弥奈美 議員、副委員長に やまぐちたけひこ 山口雄彦 議員が選任されました。

9月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 大雨への対応について
4. 作況状況について
5. 令和6年度建設工事の発注状況について

教育行政報告

1. 各種大会等の出場結果について
2. スポーツ合宿の誘致について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 投票率のポイントを上げる仕組みづくりを

答弁 投票状況等进行分析のうえ調査研究してまいります

むねかた かずき
宗形 一輝 議員

質問

8月25日に執行された中標津町議会議員選挙では、今回から民間施設での期日前投票を取り組んだところですが、12年前は投票率が60.68%、8年前は50.11%、今回は47.79%、50%を切った結果となりました。

投票率を上げるには、どの世代がどのくらいの数の割合を投票しているか、研究し把握する必要があると考えます。

また、選挙における候補者の情報を有権者に届ける手法として、選挙公報は町民が興味を持ち、候補者の情報を確認できる重要な広報と考えます。



選管書記長答弁

当町では、未だ発行条例を設けていないので、選挙公報を発信していくべきではないでしょうか。

投票率を上げる取り組みを継続するうえで、投票者を世代別に把握することは、選挙としても欠かせないものと考えています。

一部投票所での試験運用を始め、全投票所での運用による費用対効果を踏まえ、調査研究を行ったうえで、環境が整い次第、各種分析にも取り組みます。

統一地方選挙に関する意識調査では、立候補者の情報取得にあたって役だったものとして、選挙公報との回答が最も多いです。

立候補者の主張を一覧で見比べられることは、投票者にとってもメリットのあるもので、今後の選挙における本町の投票状況等进行分析のうえ、調査研究してまいります。

質問 旭ヶ丘ふれあい公園のトイレ整備を

答弁 令和10年度に改築工事を行う予定です

佐久間 ふみ子 議員

質問



旭ヶ丘ふれあい公園のトイレは東19条通りに面し、中標津墓地の入口に設置されていますが、その建物は木材が腐食し、外壁の一部が剥がれていたり、個室の戸は下のところがぼろぼろです。

トイレは、全て和式で汚物が見えるぼつとんトイレです。

墓地に隣接していることもあり、お盆やお彼岸には町内外からお墓参りに来られますが、女性や高齢者・子どもや身体の不自由な方たちからは、臭いし利用しにくいと、改修を望むご意見や要望の声が多く聞かれます。

また、公園にいた小学生にトイレのことを聞いたところ、「一度も使ったことはないし、怖くて使いたくない。」と答えてくれました。

現在、利用する人もほとんどいない状態で、老朽化のまま放置していくのでしょうか。

小さな子どもから高齢者の方たちにも、使いやすいトイレを早急に整備すべきと考えますが、町長の見解をお聞かせください。

町長答弁

本町が管理している34公園のうち、設置後30年以上経過したトイレは11か所あり、中でも旭ヶ丘ふれあい公園のトイレは、昭和58年に設置され、40年が経過して老朽化が進んでいます。

現在、町では公園施設長寿命化計画に基づき、国の社会資本整備総合交付金を活用しながら、令和9年度トイレ改築工事の実施設計を行い、令和10年度に改築工事を行う予定となっています。

質問 ふるさと納税のリピート率向上と移住政策の連携を

答弁 移住定住にもつながる関係人口の創出を目指します

まつむら やすひろ
松村 康弘 議員

質問



ふるさと納税に応募していただける寄附者の中で、中標津町にリピートしていただける割合は増えているのでしょうか。

金額の増加だけに関心がいつてしまいますが、リピート率が毎年増えることを期待することも重要な視点ではないでしょうか。

これが年々向上していくことは担当係からいただいたお礼状と、主にそれがどのようにに用いられ、どのようなふるさとづくりに反映されたかをお伝えするものであり、それに共感いただけた結果と思います。

このような共感いただける方々に対し移住のガイドの入門編といえるような、

ふるさと納税の運用の研究が必要と考えますがいかがでしょうか。

町長答弁

本町にふるさと納税をされている方のリピート率は、平成29年度には13%287人でありましたが、令和5年度は申込件数5809件に対し、1362人23%の方が過去に寄付をしたことのあるリピーターとして毎年増加し、返礼品を含めた本町の魅力を感じていただいているものと考えています。

今後も、本町の魅力や寄附金を活用した取り組みを積極的にアピールし、リピート率の向上を図り、移住定住にもつながる関係人口の創出を目指してまいります。

他の一般質問

- 自治基本条例における町内会条項の強化を
- 町内会参加勧誘の職を全ての町内会に提供を

質問 ヒグマ出没時対応の報償金は適切な報償額を

答弁 適切な価格設定をしていきます

くりす 陽介 議員



質問

今年4月に桜児童公園近くの住宅街の監視カメラにヒグマが映っていました。

当町では21名のヒグマに対応する有害駆除従事者がいますが、ヒグマが出没して即時対応できる従事者は非常に少ないのが現状です。ペテランでも非常に危険で、従事者への報償額の増額を各自自治体が決定しています。

当町の報償金は幾らかというところ、命をかけての対応にも関わらず、時給1140円です。

現行の法律では、町なかでの発砲を禁止され、従事者は、町民のために業務に当たる勇者です。

もちろん、金額ばかりではなく、大変危険な業務だと認識して欲しいと思います。

町長は従事者への報償金を他の自治体同様に増額するお考えはありますでしょうか。

町長答弁

危険を伴う対応と承知していますが、ヒグマ対応に係る報償金は、道内自治体で様々な金額設定と報道等でも周知されています。

町民の命や農作物の被害を守るヒグマ駆除従事者の報償金は、近隣自治体の価格を参考に猟友会と相談しながら、適切な価格設定をしていきたいと考えています。

他の一般質問

●ヒグマに対応できる新人育成を

●町民が安心して水道水を利用できる水質検査結果の周知を

質問 犬猫の適正飼養への意識向上を

答弁 関係機関にも協力を求めます

えぐち ともこ 議員



質問1

中標津町環境基本計画では、野生化したペットが酪農に与える影響に警鐘を鳴らしていますが、具体的な施策に触れられていません。

町長答弁

計画にペットや野生化が懸念されるペットに関する方針を示しています。

動物の命を尊重し、野生動物と共生する社会の形成に努めています。

再質問

野犬により牛が被害を受けている事例が町内でも発生しています。野生化した犬猫への正しい接し方の啓発をすること、牛舎に住み

ついた犬猫への対応は、農協等関係機関も含めて周知に努めるべきではないでしょうか。

町長答弁

理想的な飼い方を多く情報提供し、住民の意識改革に寄与すること、また、畜舎・牛舎の犬猫の飼養方法や保護事例など、農協の広報誌でも周知啓発していただければ、関係機関に協力を求めます。

質問2

犬猫の保護の餌代や治療費など、愛護ボランティア団体の自己負担も大きく、金銭的にも窮状に陥り、町は自治体に助成を行う民間団体の「こづぶつ基金」等、積極的に活用すべきではないでしょうか。

町長答弁

交付を受けられる補助金の情報収集に努め、利用できるものは有効活用していきます。

他の一般質問

●新興住宅地へのごみステーション設置について

質問 実質的なパブリックコメント活用を

答弁 よりわかりやすい資料の提示・期間の確保に努めます

ひらやま ひろみ
平山 光生 議員

質問

中標津町町民意見募集制度実施要綱には、町民等が当該政策等の案を理解するために必要な関連資料を公表し、意見提出までの期間を30日程度設けることとなっています。

また、計画の概要版も理解しやすい資料とはいえず、募集期間も徐々に短くなっています。

成人年齢が18歳に引下げとなり、早くから町政への参画が求められる現代において、若い世代にも理解しやすい資料を作成し、将来のビジョンや地域社会の関心を促していく必要があると考えますが、町長の考えをお聞かせください。



町長答弁

この制度の目的に沿い、町民の町政への参画機会を拡充するため、意見募集の際は事前に町広報紙に記事を掲載し、町のHP等への掲載、SNSへの投稿、また、総合文化会館等4か所に資料を配架し、広く意見などを募集しています。

今後は、案件公表の日から原則30日程度確保のうえ、概要版を作成するなど、より分かりやすい資料の提示に努めます。

再質問

パブリックコメントが多く寄せられている自治体は、図書館や町内会などにも配架し、必要な方には配布も行っています。

どの程度まで改善していただける意向なのか、また、配架場所や配布に関しては、どのようにお考えなのでしょうか。

町長答弁

わかりやすさを重要視すると同時に、場所の選定や希望により配布もできるように努めます。

質問 町道における熊襲撃対策の実施を

答弁 ヒグマ目撃情報を新聞等で注意喚起します

ながぶち ゆたか
長瀬 豊 議員

質問

熊の出没発見状況は令和5年度で73件、令和6年度8月末迄で、40件となっています。

町の対応も非常に大変だと思っています。

今回8月25日午後11時頃起きた西竹町道での目撃情報は、今までにない襲いかかってきた事例です。

周辺の酪農家は作業時にも花火を鳴らす、1人では歩かない、ペットのイサも放置しないなど、できる対策を実施しています。

これから2番草収穫やデントコーンの収穫作業に入り危険度が増します。うろつき歩く熊への対応



は難しいとは思いますが、何かあってからでは遅く、一般の目撃情報とは別物と考えるべきなので、現在の対策をどのように行っているのか伺います。

また、町のGISデータに熊目撃情報はポイントされていますが、過去データと合わせて生息数、その熊のテリトリーなどの把握への活用はどのように行われ、駆除対策に使われているかお聞かせください。

町長答弁

通報後、猟友会と協議を行い、車両が交差点を曲がった際、急接近に驚いたヒグマが防衛反応として飛び出したことが原因であるとの見解を得ています。

積極的に人を襲った事案ではなく、特別な対応は不要と判断し見回り強化を行っています。

今後とも目撃情報をもとに、SNSや新聞で注意喚起を行います。

質問 じゃがいも伯爵まつりの更なる活性化のために渋滞問題の解決を

答弁 必要に応じてアドバイスや提案を行ってまいります

あへ さき 議員 阿部 沙希

質問



9月1日に行われた伯爵まつりは、旧農業試験場技師が品質の良さを守って定着している当町の伯爵芋を世に広げるすばらしいイベントで、人が集まり賑わいを見せる、交流人口の増えるお祭りです。

今年会場に向かうにあたり大渋滞が発生し、長い車列にダンス発表に向かう子どもたちや町民たちが1時間半並びました。

次年度以降に向けて、シャトルバスを出す方法やゆめの森公園に誘導し、道69号線の下を通るアンダーパスを利用するなど、

行政として協力できる構えを持ち、さらなる賑わいと交流人口を増やし、町を活性化することへ繋がられないでしょうか。

また、実行委員会に働きかけるなど大きな混乱が今後ないように、空港利用者にも配慮し、行政としての関わりも見直しが必要ではないでしょうか。

町長の考えをお聞かせください。

町長答弁

町は直接的な運営に関与していませんが、交通渋滞が生じたことは、生活路線や物流の確保の観点から重要な課題であると考えます。

今後主催者が行う改善策の検討について、必要に応じてアドバイスや提案を行います。

また、イベントの開催への情報発信強化へ積極的に協力してまいりたいと考えています。

質問 町長が健康づくりのリーダーシップを

答弁 リーダーシップをとることは当然と考えています

まつの みやこ 議員 松野 美哉子

質問



人生100年時代といわれている昨今、町民の高齢化、生産年齢人口の減少など町を支える方々の健康づくりは、生活を前向きに生きる必須条件です。

健康づくりは、もはや一人ひとりの意識や行動に任せるものでも、行政だけが背負うことでもなく、町民を取り巻くそれぞれの環境の中で対応できる仕組みづくりが求められています。

例えば東京都では、地域と繋がって動き出す、「地元から発信する健康づくり支援事業」が進められています。

そこで、全町民にお顔の知られている町長が、各町内会を「10分間一緒に歩きましょう」とインパクト

のある行動で、1「健康づくり」2「地域への参加促進」3「町内会活動の活性化」にも繋がる、「リーダーになつてはいただけないでしょうか。

町長答弁

平成17年度に「健康中標津21」を策定し、社会全体で健康づくりの推進を図り、健康な町づくりを目指すとし、健康づくりのリーダーシップをとって行くことは当然と考えています。

再質問

町長ご自身の活動であるラジオ体操を、折に触れて町内の各会場に足を運ばれて、町民を励ます取り組みを考えてはいただけないでしょうか。

町長答弁

夏休みのラジオ体操会場をまわったこともあり、機会を見て顔出ししながら、「みんな、ラジオ体操しましょう」と身体で訴えていきたいと思っています。

人事案件

第2回臨時会（9月3日）

◆監査委員の選任について同意しました。

任期 令和6年9月3日から
令和10年9月2日
氏名 吉田 貫一 氏



9月定例会（10月4日）

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

任期 令和6年10月10日から
令和9年10月9日
氏名 赤波江 信二 氏



◆教育委員会委員の任命について同意しました。

任期 令和6年10月22日から
令和10年10月21日
氏名 高橋 幸子 氏



氏名 青山 幸子 氏



◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて適任と認めました。

任期 法務大臣委嘱の日から
3年間
氏名 柏川 率子 氏



氏名 猪原 健弘 氏



意見書



詳しい内容はホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出しました。

国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者 ひらやま 平山 光生 議員

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の見直し等を求める意見書

提出者 あべ 阿部 隆弘 議員

令和6年度 根室地方森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟協議会定期総会

日時：令和6年7月5日(金) 14:00～14:30 場所：中標津町役場 1・2号委員会室

来賓に中標津町^{あまの}天野経済部長、^{たかの}鷹野根釧東部森林管理署長をお迎えし、令和5年度事業報告、収支決算報告、監査報告および令和6年度事業計画(案)、収支予算(案)、役員改選が承認されました。

また、本年度研修内容について、羅臼町での開催内容、日程等について説明があり、羅臼町郷土館を視察、その後、羅臼ビジターセンターにて、公益財団法人知床財団より講演を受ける予定とのことでした。



根室林活議連協議会 事務局長 ^{あべ}阿部 ^{たかひろ}隆弘 議員

第25回 釧路・根室地方森林・林業・林産業 活性化を促進するための連絡会議総会

日時：令和6年8月5日(月) 13:50～16:00 場所：釧路工業技術センター 会議室

総会では令和5年度の経過報告、決算報告、監査報告が承認され、令和6年度活動計画(案)は次の4項目が提案され、令和6年度予算(案)とともに承認されました。

- 森林・林業・林産業の振興施策に関する調査及び研究を行う
- 連絡会議を構成する各組織が幅広い情報交換を行い、森林・林業・林産業の活性化に向けた予算確保、施策の実現に向け各組織が取り組みの強化を行う
- 流域内森林・林業・林産業の振興と、釧根（地域）産材の需要拡大に取り組む
- 森林の持つ公益的機能の維持・増進を図り、豊かな釧根の森林のために必要な予算確保に向け林活議連をはじめ構成団体と連携し取り組む

終了後に開催した記念講演は、北海道木材産業協同組合連合会副会長の^{うちだとしひろ}内田敏博様より「(株)スナダヤの釧路進出に当たっての課題と対応(?)」をテーマにご講演をいただきました。

釧路市の製紙工場跡地に計画されている巨大製材工場の進出が地域に及ぼす影響について、釧路市の産業振興・雇用確保等メリットは理解しますが、釧根地域が主な生産地となる原木調達が将来的にも持続可能な林産業の形態を維持できるかなど、今後もこの巨大プロジェクトを釧根林活連絡会議として注視していく必要があると感じました。



釧根林活連絡会議 副会長 ^{たかはし}高橋 ^{よしさだ}善貞 議員

中標津町議会新議員研修会

新議員研修会が9月12日・13日の2日間で開催されました。

1日目は、役場の各部局担当者から所管事項の説明を受けました。

膨大なボリュームに圧倒されましたが、これらのことに挑んでいかなければならないと、再認識しました。

2日目は、後藤^{ごとう}議長より「議員としての心構えについて」講話をいただき、江口^{えぐち}議会運営委員長から、議会運営に関する確認を基に、議員活動への対応などわかりやすく説明をいただきました。

その後、各常任委員長から委員会での取り組みや課題などの説明を受け、議員活動は、常に学び、その学びに関しても深く調査・研究して、皆が理解すべく内容に組み立てていくことが重要とアドバイスをいただきました。

今回の新議員4名は、議員として新たな活動を進めていくにあたり、あらためて自らを奮い

立たせていかなければならないことを痛感しました。

経験や知識からの自分目線、法律や条例を基本とする行政目線も大事とは思いますが、安心して暮らしていけるためにも町民目線を決して忘れることなく、これからも努力を重ねてまいります。

ながぶち ゆたか
(長瀬 豊 議員)



令和6年7月から9月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
7月1日	総務文教常任委員会（農業高校との懇談会）	欠 席 1 名	11日	なかしべつ夏祭りコスプレ仮装盆踊り審査	議 長
2日	川崎市市制100周年記念式典（川崎市）	正 副 議 長	15日	中標津町殉公者之碑参拝及び殉公者追悼式	議 長 外 議員 11 名
4日	北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）	正 副 議 長	18日	中標津消防団総合訓練	議 長
5日	総務文教常任委員会（広陵中学校視察）	欠 席 1 名	30日	中標津町地域材利用促進協議会	高橋林活会長
6日	衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会実情調査（根室市）	議 長	31日	自由民主党北海道第7選挙区支部政経セミナー（釧路市）	議 長
7日	根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会役員会・総会	高橋林活会長 外 4 名	9月3日	第2回臨時会 全員協議会 議会運営委員会	全 議 員 全 議 員 全委員・議長
8日～9日	陸上自衛隊別海駐屯地創立59周年記念行事（別海町）	議 長	12日	新議員研修会（所管懸案事項説明）	新 議員 4 名
7日～10日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名	13日	新議員研修会（議運懇談）	新 議員 4 名
17日	根室地方総合開発期成会要望活動（札幌市・東京都）	議 長	17日	議会運営委員会	全委員・議長
19日	西村ゆたか後援会事務所開き	議 長	18日	文教厚生常任委員会	全委員・議長
20日	根室北部消防事務組合、根室北部廃棄物処理広域連合臨時会	関 係 議 員	19日	9月定例会議件事前説明	正副議長・議会運営委員長
23日	中標津神社例大祭御神幸行列	議 長	20日	総務経済常任委員会	全委員・議長
26日	厚生常任委員会	全 委 員	24日	議会広報特別委員会	全 委 員
29日～30日	産業建設常任委員会	全 委 員	25日	議会運営委員会	全委員・議長
31日	北海道町村議会議長会「議会ハラスメント防止条例」調査（愛別町）	議 長	27日	全員協議会	全 議 員
8月2日	根室本線花咲線対策沿線地域連絡協議会（根室市）	議 長	29日	阿寒摩周国立公園指定90周年記念式典（弟子屈町）	議 長
5日	釧根林活連絡会議総会（釧路市）	高橋林活会長外1名	30日	中標津町総合防災訓練	議 長 外 12 名
10日	なかしべつ夏祭り安全祈願祭	議 長		総務経済常任委員会 文教厚生常任委員会 議会運営委員会 9月定例会本会議（1日目） 全員協議会 決算審査特別委員会 （一社）中標津青年会議所2024年度9月第1例会	全 委 員 全 委 員 全 委 員 全 議 員 全 議 員 関 係 委 員 議 長
11日	なかしべつ夏祭り音頭踊りパレード	議 長 外 8 名			

議会だよりをお読みの皆様へ

限られた誌面の都合上、掲載できない下記開催の議会内容は、中標津町議会ホームページからご覧いただけます。



- 令和6年第1回根室北部廃棄物処理広域連合議会臨時会（7月19日開催）
- 根室北部消防事務組合第1回臨時会（7月19日開催）

議会だよりに対する ご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場 議会事務局

TEL (0153) **74-0912**

FAX (0153) **73-5333**

・ホームページは <https://www.nakashibetsu.jp>

・メールは gikai@nakashibetsu.jp



ご意見はこちらから

発行／北海道中標津町議会
編集／議会広報特別委員会

●議員の年賀状等について●

公職選挙法では、議員は選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状・暑中見舞状などの時候のあいさつ状（電報なども含まれる）を出すことは禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。